

2012年6月22日
お問い合わせ先

ベインキャピタル広報担当：久世（くせ）

090-5432-6755／03-3536-2688

ベインキャピタル、ジュピターショップチャンネル株式取得で 住友商事と合意

国際的プライベート・エクイティ投資会社であり、日本企業の競争力強化の支援に注力しているベインキャピタルは本日、ジュピターショップチャンネル株式会社（本社：東京都中央区、社長：篠原 淳史、以下「JSC」）の株式50%を住友商事株式会社（本社：東京都中央区、社長：中村 邦晴、以下「住友商事」）より取得する株式売買契約に調印しました。

これはベインキャピタルが助言するファンドが管理・運営する株式会社BCJ-10が、住友商事より、JSCの普通株式（議決権比率50%）を取得するものです。なお、取得額については公表しておりません。住友商事は本株式譲渡後もベインキャピタルと対等なパートナーシップの下、共同でJSCの更なる成長に取り組む予定です。

JSCはTVショッピングを中心とする通信販売を中核事業としており、TVショッピング専門チャンネルでは初の24時間完全生放送を実施した、同市場の中では日本最大のプレイヤーです。ベインキャピタルの杉本勇次マネージング・ディレクターは今回の株式取得の背景について次のように述べています。

「JSCは圧倒的な販売力・商品力と強固な番組配信ネットワークを活かし、マクロ経済の状況に関わらず安定した成長を記録してきていますが、更なる大きなポテンシャルを秘めています。当社の日本・アジア・欧米における小売・消費財業界に対する数多くの投資から得た知見に加え、日本を代表する総合商社である住友商事の総合力及びメディア・ライフスタイル事業部門の持つマルチチャンネル・リテールの強みと合わせ、共同で成長戦略を策定・実行し、事業の更なる発展を図る計画です」。

ベインキャピタルは全世界で総額600億ドルを越える運用資産を持つ国際的投資会社であり、日本においては2006年に東京拠点を開設して以来、約30名のプロフェッショナルにより投資先の企業価値向上に向けた取り組みを進めています。主に事業会社・コンサルティング会社での経験を有するプロフェッショナルを中心に構成されており、一般的な投資会社の提供する資本・財務的支援にとどまらず、事業運営を現場レベルで支援・着実に成長戦略を実行し数々の価値向上施策を成功に導い

た実績を有しています。日本においてはすかいらーく、ドミノピザ・ジャパン、ベルシステム24など6社に対して、そしてグローバルでは1984年の設立以来300社超に対しての投資実績があり、小売業界においても玩具販売大手トイザラス、子供服販売大手ジンボリー、スーツケース製造販売大手サムソナイト等、世界における多数の代表的小売企業に対する投資・価値向上実績を持っています。

ジュピターショップチャンネルについて

JSCは、住友商事の子会社であり、1996年の創業以来一貫して増収を続け、現在では売上約1,200億円に達し、約4,000億円の国内テレビ通販市場において約3割のトップシェアを占める国内最大のテレビ通販事業者です。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、プライベートエクイティ、ベンチャーキャピタル、上場株やレバレッジローンなど、総額600億ドル以上に上る数種類のファンドを運用している世界最大級の投資会社です。MIT・ロムニーを中心としたメンバーによる1984年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で300社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ300名を超える専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に事務所を開設しています。